平成２８年度　学校通信

松北だより「笑顔」

第４２号　　平成２８年１１月　２日（水）

本年度の松ヶ江北小学校みんなの合言葉
【あいさつ・そうじ・時間のけじめ】
【やる気・本気・根気】

11月　しっかり聴き、じっくり考え、質問もして、自分の思いもはっきり伝える…そんな、本気の勉強をしよう

たくさんのご来校、そして、ご支援、ご協力…本当にありがとうございました！

１０月３０日（日）は絶好の“もちつき・バザー日和”でした！例年のことながら、この全校もちつき及びＰＴＡ松北ふれあいバザーの開催に際しての保護者の皆様、地域の皆様の絶大なるご支援、ご協力には、心から感謝申し上げます。子どもたちも毎年、本当に楽しみにしています。この秋の日の一日は、実に貴重な体験となる、松北にとっての特別な一日だと、つくづく感じるところです。特に本年度は、もちつきのお世話をしていただく地域の方々の人数が、例年以上に多かったように思います。児童数が年々減ってきているからそう感じたのでしょうか、松北の子どもたちが、とにかく多くの大人に囲まれ、そして、温かく見守られているという印象をとても強く受けました。本当にありがとうございました。

バザーに関しても、もはや、ほとんどの保護者の皆様がスタッフという感じでした。前日までの様々な準備や、当日も朝早くから終了後の片付け、そして反省会まで、本当にお疲れ様でした。本年度は、年度当初のＰＴＡ組織改革に伴い、初めて学年ごとに様々なコーナーを担当していただくという形態をとりましたが、いかがだったでしょうか。

山下会長さんもいつも言われているとおり、今後も世帯数の一層の減少が予想されるなか、無理なく、楽しく、継続してやっていける活動の在り方を、みんなで探ってまいりましょう。もちつき同様にこのバザーに関しても、本当にありがとうございました。

11月　しっかり聴き、じっくり考え、質問もして、自分の思いもはっきり伝える…そんな、本気の勉強をしよう

本年度では今月初めて、勉強に関することをめあてに掲げました。“スポーツの秋”、“芸術の秋”、そして、“勉学の秋”ですからね。

先日のバザー反省会の折にもお話しさせていただきましたが、松ヶ江北小学校では今、主に生活科（１・２年）や総合的な学習の時間（３～６年）の授業を中心に、子どもたちが本気で取り組む学習活動を創り出していくことに力を注いでいます。本気で取り組むとは例えば、意欲的に、自ら進んで、喜んで、楽しみながら、必要感に駆られて、よく考えて、試行錯誤を繰り返しながら、・・・といったところでしょうか。詳しくは、またの機会に触れさせていただきますが、特に生活科や総合的な学習の時間においては、そのねらいから考えて、子どもたちが本気で問題解決に取り組むような学習活動を工夫していくということが不可欠なのです。この１１月から学期末にかけて、子どもたち一人一人が本気で問題解決に取り組み、深い学びを体験してくれることを、そして、真の学力を身に付けていってくれることを心から願っています。

これも反省会の折にお話ししましたが、２２日（火）の研究大会に関しても、また別の機会に、詳しくお知らせ、お願いなどをさせていただきます。

＜あとがき＞

日曜日はとても過ごしやすいお天気でしたが、それ以降、日に日に気温が下がってきていますね。特に、朝晩の冷え込みは結構なものです。体調管理には十分お気を付けください。本気の勉強のためにも、まずは健康第一！